



人気下降はニオイのせい? どうじゃ、丁稚羊羹?

# 鮎ずしの憂うつ



再演決定!!

# 安土城ひみつ会議

大人気おすすり

おうみ狂言図鑑 コレクションvol.4

B□にて上演



戦国大事件の真相に迫る  
 パラレル大河狂言!

# おうみ 狂言 鑑

2020

出演							C□にて上演 狂言ワークショップ参加者のみなさん

**A** 2020年 2月22日(土)  
 14時開演(13:30開場)

滋賀県立芸術劇場  
 びわ湖ホール・小ホール  
 大津市打出浜15-1  
 TEL 077-523-7146

【演目】  
 古典：鬼瓦 / 附子  
 新作：鮎ずしの憂うつ

URL [www.biwako-hall.or.jp/](http://www.biwako-hall.or.jp/)

全席指定

**B** 2020年 3月1日(日)  
 14時開演(13:30開場)

日野町町民会館  
 わたむきホール虹  
 瑞生郡日野町松尾1661  
 TEL 0748-53-3233

【演目】  
 古典：棒縛り / 蝸牛  
 新作：安土城ひみつ会議

URL [www.rmc.ne.jp/watamukihall/](http://www.rmc.ne.jp/watamukihall/)

全席自由

**C** 2020年 3月7日(土)  
 14時開演(13:30開場)

東近江市てんびんの里  
 文化学習センター  
 東近江市五個荘竜田町583  
 TEL 0748-48-7100

【演目】  
 古典：菌 / 因幡堂  
 新作：安土城ひみつ会議

URL [www.city.higashiomi.shiga.jp/](http://www.city.higashiomi.shiga.jp/)

全席指定

**D** 2020年 3月28日(土)  
 14時開演(13:30開場)

長浜文化芸術会館  
 長浜市大島町37  
 TEL 0749-63-7400

【演目】  
 古典：千鳥 / 柿山伏  
 新作：鮎ずしの憂うつ

URL [n-bungeikaikan.com/](http://n-bungeikaikan.com/)

全席自由

※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

入場料(税込)

一般 2,000円  
 青少年(25歳未満) 1,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売日 12月21日(土)

「おうみ狂言図鑑 2020」全4公演のうち2公演以上のご鑑賞で、茂山家オリジナルグッズがもれなく当たる!

●チケットのお求め先

全公演取扱い ローソンチケット Lコード51485  
 びわ湖ホールチケットセンター (現金・窓口販売のみ)

Aのみ取扱い びわ湖芸術文化財団インターネットチケット (<https://www.biwako-arts.or.jp/rd/>)

Bのみ取扱い わたむきホール虹、東近江地域勤労者互助会、(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター

Cのみ取扱い てんびんの里文化学習センター

Dのみ取扱い 長浜文化芸術会館、浅井文化ホール、湖北文化ホール、滋賀県立文化産業交流会館、アル・プラザ長浜、平和堂木之本店、ピバシティ彦根

## おうみ狂言 図鑑とは？

2011年から茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し、現在までに9つの作品が生まれています。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけではなく全国でも広く上演され、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。

# おうみ狂言図鑑コレクション アンコール再演

## A Dにて上演 vol.1 餅ずしの憂うつ

作：土田英生

このところ“餅ずし”は毎日憂鬱な日々。近江一の名産品としての自信が揺らぎ始めていたからである。それもこれも二オイのせい。最近では近江牛が名産品として大きな顔ををし、可愛がっていたでっち羊羹さえも近江牛の味方に付いてしまった。

そこにははるやって来たひきわり納豆とくさやの干物。同じ悩みを持つものとして餅ずしの相談に乗ってやることに……



人気公演  
No.1

## B Cにて上演 vol.4 安土城ひみつ夜譚

作：三千院高穂

あの、「本能寺の変」が起きる六ヶ月前、安土城では新年会に参加する織田家家臣が集まっていた。そんな中、最近お館様に嫌われているのではないかと心細やかではない明智ひでみつは羽柴ひできちに相談を持ちかける。そこへ陽気な宣教師オルガンヒキーノや若いキャリア組の宿生さとうじが加わり、話が思わぬ方向へ……。やがてはお館様のあらぬ秘密が暴露され……。近江を題材により深く「戦国の大事件」の真相に迫った(妄想した?)パラレル大河狂言。



大人気  
お打込め

## A 2/22 (土) 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール・小ホール

古典：鬼瓦 (おにがわら)

長期にわたり在京していた遠国の大名が帰ることになったので太郎冠者を連れて日頃信仰する因幡薬師へ御礼とお別れに参詣します。礼拝の後、この薬師を国許へ勧誘するためお堂の造りを詳しく見て回ると屋根にある鬼瓦に目が留まります。その鬼瓦を見て国に残してきた妻を思い出すと泣きはしめます。鬼瓦が自分の女房に似ているという発想がいかにも狂言的ではのほのとしたユーモアを感じるお話です。



古典：附子 (ぶす)

太郎冠者・次郎冠者に留守番を言いつけた主人。桶の中身は附子という猛毒なので絶対に近づかないように、と言って出かれます。二人がごわごわ桶の中を覗き込むと、中身はおいしそうなお砂糖。結局すべて平らけてしまい、言い訳のためにと主人秘蔵の掛け軸や天目茶碗を壊して大声で泣きながら主人を待ちます。帰宅後、激怒する主人に二人は……



## B 3/1 (日) 日野町町民会館わたむきホール虹

古典：棒縛り (ぼうしばり)

留守になると家来たちが酒を盗み飲みするので困っていた主人。そこで次郎冠者を棒に、太郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまいます。不自由な格好で留守番するはめになった二人は、ならばいよいよ飲んでやろうと工夫を重ね、ついに酒にありつきます。二人が酒宴を繰り広げているところに用事を終えた主人が戻ってきて……



古典：蝸牛 (かぎゅう)

太郎冠者は主人の言いつけで長寿の薬になるといわれる蝸牛(かたつむり)を探しに山へ出かけます。そこで修行の帰りに竹やぶで休んでいた山伏に出くわします。蝸牛を見たことがない太郎冠者は、主人から聞いた特徴から山伏を蝸牛だと勘違いし、屋敷へ連れて帰ろうとします。



## G 3/7 (土) 東近江市てんびんの里文化学習センター

古典：菌 (くさびら)

家に大きな菌(きのこ)が生え、取っても取ってもなくならないので、男は山伏に祈禱を頼みます。山伏は祈禱するも菌はますます増え山伏や男にいたずらをします。疲れ果てた山伏は菌に追われて逃げ出します。その風貌と続々と現れる大きな菌たちの姿が重話的なお話です。



撮影：上杉 潤

古典：因幡堂 (いなばどう)

大酒飲みの妻をもった夫は、妻が実家へ帰っている間に離婚状を送りつけ、因幡堂へ新しい妻を得るために妻乞いに行きます。そこに菌を立てた妻がやって来て薬師になりすまし「西門の一の階(きざはし)に立った女を妻にせよ」と告げ、自分がその場所へ行って被衣(かすぎ)をかぶって待ち構えます。喜んだ夫は新しい妻だと信じこんで連れ帰ります。祝言の盃で女は何杯も飲み干すうえ、顔も見せません。たくましくうさぐさ女とそれに対抗しきれない弱気な夫との対比がおもしろいお話です。



撮影：川西 隆樹

## H 3/28 (土) 長浜文化芸術会館

古典：千鳥 (ちどり)

付けで酒を買ってくるように主人に命じられた太郎冠者ですが、支払がたまっているため酒屋の亭主は酒を売ってくれません。太郎冠者は亭主を巻き込み津島祭の様子を眺めながら調子よくはなします。その隙に棒に近づき持ち去ろうとしますが、亭主にみとがめられます。今度は山鉾を引く様や、流鏝馬などを話し、何とか酒を手に入れようと身振りをまじえて演じる太郎冠者の奮闘ぶりが見どころです。



古典：柿山伏 (かきやまぶし)

修行帰りの山伏が空腹のため道端の柿の木に登り勝手に柿を食べていると畑主がやってきます。畑主は木の陰に隠れた山伏を見つけると、からかってやろうと鳥だ獲だと言って鳴きまねをさせます。嚇され、のせられた山伏は鳥の鳴き真似をしながら木から飛びおりたものの……

